



加藤なを子 活動レポート

県政へのかけ橋



<連絡先> 藤沢市藤沢2-3-2

発行: 日本共産党・加藤なを子事務所

Tel.0466-25-4776 fax 25-4761

村岡新駅より住民の安全こそ

藤沢駅のホームドアの設置に向けて

11月10日、政府予算要望交渉に参加しました。国土交通省では、ホームドアの設置などバリアフリー化の説明がありました。ホームドアの設置費用の割合については、国の費用負担を、3分の1から2分の1に増やしました。また、バリアフリー化を進めるため、昨年12月、運賃に整備費を上乗せできる制度「鉄道駅バリアフリー料金制度」をつくりました。JR東日本など全国の15社は、来年以降、普通運賃に10円上乗せし、整備を充実させていく方針を示しています。でも、バリアフリー化は住民の負担で整備するのではなく、国の予算でまかなうべき内容です。



(左端は畑野君枝・前衆議院議員。右端が加藤なを子)

2017年には、藤沢の住民の方から、藤沢駅のホームドアの設置について県議会に陳情が提出され、常任委員会で全会一致で趣旨了承されていますが、未だに実現していません。

朝のラッシュアワー時の藤沢駅の混雑は深刻です。小田急線からの乗り換えでホームに人があふれ、いつ事故がおきるかわからない危険な状況です。県も市も、住民の要望をしっかりと受け止めて、安全な駅にするため、ホームドアなど早急に設置すべきです。皆さんと一緒にがんばります。

朝のラッシュアワー時の藤沢駅の混雑は深刻です。小田急線からの乗り換えでホームに人があふれ、いつ事故がおきるかわからない危険な状況です。県も市も、住民の要望をしっかりと受け止めて、安全な駅にするため、ホームドアなど早急に設置すべきです。皆さんと一緒にがんばります。

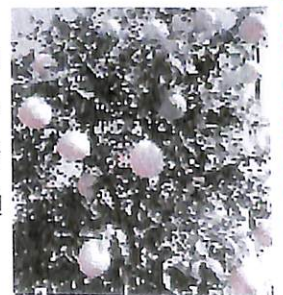


11月17日藤が岡後援会「県会市会報告会」
右は土屋としのり市会議員

なを子の花だより

ジャンボレモン (ボンテローザ)

後援会ニュースを読んでもらっている方のお庭にあるジャンボレモンです。別名はボンテローザで、存在感のあるさわやかなレモンイエローの実が育ち、見ごたえがありました。普通のレモンの約4倍に育ち、重さは500gから大きいものは1kgになるそうです。普通のレモンより酸っぱさがまろやかです。調べてみたら、皮はレモンピールに、実はジャムにできるそうです。



日本共産党は緊急提案します

(11月10日日本共産党「物価高騰から暮らしと守る緊急提案発表」)

賃上げを軸に内需を活発にして、实体经济を立て直す

1. 働く人がゆたかになってこそ、経済も強くなる
賃上げを実現する緊急で効果のある対策を
2. 消費税の緊急減税
物価高騰の中だからこそ、社会保障と教育の負担軽減を
3. 中小企業・小規模事業者をつぶさない
大量倒産・廃業の危機を打開する本格的な支援策を
4. 食料・エネルギーの自給率の向上
国民生活と経済の安定のためにも食料危機・気候危機
打開という人類的な課題のためにも

財源についての日本共産党の考え

富裕層・大企業に応分の負担を求め、くらしも
経済も押しつぶす大軍拡をやめさせる



左は味村こうたろう市会議員

生活に寄り添い、市や県で政策提案をおこない、実現に向けて、皆さんと力を合わせます。

※「緊急提案
全文はここから→



国が国民のくらしや
営業に背をむけている時、
くらしを守る地方自治体の
役割は重要です。



11月20日(日)「加藤なを子デー」
(市内を歩き、政策を訴えました。)



11月25日(金)「日本共産党大演説会」(藤沢市民会館・大ホール)
左端は畑野君枝・前衆議院議員 中央は加藤なを子 その右側は
市田忠義・党副委員長。統一地方選挙の候補者もせいぞろい。